

第**192**号

平成24年(2012年)新年号

- ◆ 2面・3面……会派のあいさつ
- ◆ 4面……市議会重大ニュース

な
は

市議会だより

平成24年(2012年)1月1日発行

那覇市議会

那覇市上之屋1丁目2番1号

電話 (098) 862-8194

FAX (098) 862-8296

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>



謹んで新春のお喜びを申し上げます



副議長 **翁長 俊英**

年頭のごあいさつ

魅力あふれる協働のまちをめざして



議長 **永山 盛廣**

平成24年(2012年)元旦

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には希望に満ちた平成二十四年(二〇一二年)の新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は三月十一日に起きた東日本大震災により、東北地方はじめ各地に未曾有の被害がもたらされました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます、一日も早い復興を願うものであります。

震災後はこれまでの価値観が一変し、地域や家族の絆、節電、防災意識など色々な面で考えさせられる年でもありました。

那覇市では市制施行九十周年を迎え、様々な記念事業が展開される中、「さいおんスクエア」が国際通りにオープンし、市民、観光客の皆様にも親しまれており、牧志・安里地区の活性化に大きな期待が寄せられているところでもあります。また、グローバル化が進む中で第五回世界のウチナーンチュ大会、那覇市・福州市友好都市締結三十周年記念事業により、国外との交流の輪をより強固なものとする事ができました。

私も那覇市議会では、県都として都市基盤の強化、魅力あるまちづくりを目指し、平成二十五年度の中核市移行を踏まえ、将来の那覇市を見据えた活動を展開して参りました。また、那覇市が策定した「総合交通戦略」について、市内七か所で「那覇市の交通政策を考える市民地域フォーラム」を開催し、市民の声を市政に反映すべく努めてきました。

さらに、地方分権、地域主権の流れの中、二元代表制の一翼を担う議会の責任を果たすため、「監視機能」、「政策立案機能」の強化に加え、議会の基本的事項を明文化し活性化を図る、「議会基本条例」の制定に向け、独自に研修会を実施し研鑽を積んでいるところであります。

今年は、念願である新庁舎が完成いたします。議会議事堂は那覇市の市章をかたどった円形の対面式の議場を採用し、これまで以上に議会の活性化と開かれた議会を目指して参ります。

本年も、市民の皆様にとりまして、実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、本市議会への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のごあいさついたします。



会派のモットー・抱負

会派とは

市政に対して同じような考え方や意見をもった議員で構成（2人以上）し、議会内で活動する集団です。現在、本市議会には8会派があります。

（注）役職外の議員は議席番号順

自民党新風会

8人



永山 盛廣



政調会長
山城 誠司



幹事長
渡久地 政作



会長
金城 徹



久高 将光



瀬長 清



平良 仁一



高良 正幸

■会派のモットー
市民の暮らしを市政に反映させ、夢と希望を形に变えます。

■会派の抱負
那覇市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた初春を迎えられたことをお喜び申し上げます。昨年中は皆様の支援に

より、後顧の憂いなく会派一同、公務に精励することができましたことを、心から御礼申し上げます。昨年は千年に一度という未曾有の大災害、東日本大震災が三月十一日に発生し、かつて経験のない事態に遭遇しましたが、国民が一致団結して復興・復興に向けて頑張っ

ているところです。さて、昨年の経済情勢は、震災及びEU経済危機、円高、株安の影響を受け厳しい状況となりましたが、本年は個人消費が回復し光が差すものと思えます。一方、スポーツでは、女子サッカー「なでしこジャパン」が世界一になり、国民に大きな夢と希望を与えました。今日、国の内外ともに大きな変革の時期を迎えており、那覇市においても、地方分権社会の到来を受け、自己決定・自己責任による自治体運営が求められる等、未だかつて経験のない新たな環境に日々直面しております。今年には沖縄の将来を決める新たな沖縄振興特別措置法、軍転特措法の策定が控えており、県民一丸となり法案成立を成しえなければなりません。また、本市におきましても、平成二十五年四月を予定しております中核市移行に向けて、しっかりと作り上げる重要な年となり、より一層の行政のチェックが求められ、我々会派一同一丸となり取り組んで参る所存です。今年には本市のシンボルである新庁舎が完成致します。新たな歴史がスタートし、市民の皆様への行政サービスがより一層充実するように頑張っております。

市民の皆様には、今年もまちの活性化のために、それぞれの地域において創意工夫を凝らしていただき、我々会派といたしましても、市民の代表としての自覚と誇りを持って住民ニーズを先取りし、先導的役割を果たしていくという新意義で市政発展に尽くして参ります。新年を契機に、相とも

に心を新たにしたい、市民の皆様が那覇市を誇りとし、那覇市に住む喜びをかみしめることのできるような「魅力のある協働のまちづくり」の実現を目指して、一層努力していくことをお約束し、新年のご挨拶といたします。

ますと、国民の期待を受けて誕生した民主党政権は、「遅い、鈍い、心がない」と非難された震災や原発事故での対応に象徴されるように、もはや失望政権と化しております。沖縄においても、基地問題等への対応をめぐり、今なお県民に混乱と怒りの渦を巻き起こすなど、わずか二年余の間に日本の政治は大きく後退し、国民のみならず国際社会の中でも信頼を失う結果となりました。国政の失敗のつげは地方に転嫁されます。しっかりと国政の動きに目を光らせながら、地方から政治を変える勢いで議会活動に臨んでまいります。

昨年、市制施行九十周年を迎えた本市は、いよいよ百周年に向けて船出いたします。多くの課題が山積する中、十年後の那覇市と市民の生活を見据え、決断と実行が問われる一年になります。また、年末には新庁舎が完成するとともに、明年の中核市移行に向け、議会改革の柱となる議会基本条例の制定に向けた取り組みが本格化します。公明党那覇市議団は、本年も市民の皆さまの負託に応えられるよう全力で働いてまいります。皆さまの一層のご指導ご鞭撻・叱咤激励をよろしくお願いいたします。

結びに、市民の皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

市民の皆様にとりまして本年が益々ご健勝にて幸多い年でありませう、ご祈念申し上げます。安慶田 光男 亀島 賢二郎



公明党

7人



幹事長代理
桑江 豊



幹事長
糸数 昌洋



副団長
大浜 安史



団長
翁長 俊英



会 計
大浜 美早江



政務副会長
野原 嘉孝



政務会長
喜舎場 盛三

市民の皆様には、今年もまちの活性化のために、それぞれの地域において創意工夫を凝らしていただき、我々会派といたしましても、市民の代表としての自覚と誇りを持って住民ニーズを先取りし、先導的役割を果たしていくという新意義で市政発展に尽くして参ります。新年を契機に、相とも

市民の皆様にとりまして本年が益々ご健勝にて幸多い年でありませう、ご祈念申し上げます。

自民・無所属連合

5人



副会長
屋良 栄作



会長
唐真 弘安



安慶田 光男



政調会長
亀島 賢二郎

■会派のモットー
人が輝く、地域が輝く、豊かな街をつくる。信のある政治で市民生活の安心安全を守ります。

■会派の抱負
新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は東日本大震災の発生による復興、復興、原発問題、急激な円高による国内経済の疲弊、更には中東、アフリカ諸国における政治不安、ヨーロッパにおけるユーロ圏経済・金融問題等、内外ともに激動の年でありました。翻って本市においては、市制施行九十周年を迎え、市民待望のセルラースタジアム那覇、さいおんスクエアのオープン、那覇市福州市友好都市締結三十周年記念事業、世界のウチナーンチュ大会等、多彩な事業が目白押



幹事長
仲松 寛

日本共産党



団 長 古 堅 茂 治



副 団 長 湧 川 朝 渉



幹 事 長 我 如 古 一 郎



会 計 長 比 嘉 瑞 己



前 田 千 尋

5人

■会派のモットー

良いことには協力、悪いことにはきっぱり反対―幅広いみなさんと力あわせ、政治を動かします。

■会派の抱負

新たな年に炭と昆布飾てい心から姿若くなゆさ
辰年二〇一二年の新春を迎え、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
昨年は、東日本大震災・原発事故とかつてない年となりました。この

民主党

4人



代 表 玉 城 彰



会計責任者 清水 磨男



花 城 正 樹



山 川 泰 博

■会派のモットー

原点は政策中心の政治。沖縄の主張を曲げず、那覇市民の生活が第一の取り組みを続けます。

■会派の抱負

那覇市民の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中も、例年に続き、議会活動に対するご指導

ご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。昨年は東日本大震災を始め、多くの悲報がございました。ここに謹んで深く哀悼の意を表し、犠牲になられた方々に対して心からご冥福をお祈りいたします。那覇の地からも復興支援に全力を注ぎ、二度とこのような悲劇が

間、全国で日本共産党に寄せられた「震災募金」は九億三千万円を超え、自治体、農協、漁協、商工会議所、商工会、消防団等にお届けしました。皆様のご協力と力強い絆に心から感謝致します。日本共産党市議団は、先駆けて被災地と静岡県を調査し、市長に津波・地震対策の具体的な提案を申し入れました。同提案が市の防災施策に反映されています。二〇一二年度の市の予算編成についても三百二十五項目を市長に申し入れ、市民の願いを市政に届けました。さて、国政では民主党政権が、新基地建設の強

繰り返されないよう、万全の対策を講じて参ります。日々の生活を支えるのが政治の役割です。無駄を省き、地域に役立つ政治をつくり上げることが今こそ必要です。那覇市政には、まだまだ課題が山積しております。今年も政策の提案、指摘を行って参りますので、議会の動きは、是非、「なは市議会だより」などを通じてご覧ください。そして、日頃からの絆を大事にして参りますので、一人ひとりの声を、思いを、議員へとぶつけて下さい。パフォーマンスの政治ではなく、着実な政策で、暮らしやすさを実感できる那覇市を、ともに実現して参りましょう。

■会派の抱負
新年あけましておめでとうございます。本年も私共「改革クラブ」は、市民の皆様より付与された議員の使命、

責任、那覇市政の厳格なチェック機能を果たし、那覇市民の安心、安全、幸福度の向上と、より良い街づくりの為、日々精進して参ります。昨年は東日本大震災の発生以来、この国のかたち、未来について改めて考えさせられる年でした。被災地への対応と予算措置の遅れや、復旧、復興への施策

展開の不透明感等、国家運営の根幹に関わる疑問を抱かざるをえない場面が多々見られ、また世界的な経済危機や急激な円高等、この国を取り巻く厳しい状況が明確となりました。古くて新しい私達ウチナンチュに関わる問題に対しても、充分な回答と解決策を見いだせない政府に対して、市民の声と思いを届け、願いを表現していくと同時に、私共「改革クラブ」は、県都那覇市の議員としての自覚と市民福祉の向上を使命として襟を正し、「信なくば立たず」という信念を基に、与党派として活動して参ります。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

■会派の抱負
市民の皆様、あけましておめでとうございます。昨年の三・一一東日本大震災に続く福島第一原発事故は世界中を震撼させました。被災によって亡くなられた方々に哀悼の意を捧げ、一刻も早い復興を切に願うばかりです。八重山の教科書問題、米軍基地の状況、米軍人優位の日米地位協定、普天間飛行場の移設先を辺野古にするための閣僚の



幹 事 長 宮 里 光 雄



会 長 久 高 友 弘



政 調 会 長 與 儀 實 司



総 務 会 長 山 川 典 二

改革クラブ

4人

そうぞう

3人

■会派のモットー

「暮らしがよくなった」と実感できる社会を目指し、既成概念に捉われず、



総 務 局 長 坂 井 浩 二



幹 事 長 新 屋 清 喜



会 長 宮 國 恵 徳

積極果敢に行動します。市民の皆様、明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、常日頃市民の皆様方から多くの叱咤激励を頂戴しておりますことに、心より感謝申し上げます。昨年の東日本大震災は、わが国に未曾有の被害をもたらしました。復興財源等の発動により、全国的により一層の緊縮財政が求められています。そのような社会状況のなか、我が県においては、第五次沖縄振興計画が今年スタートします。限られた



幹 事 長 下 地 敏 男



副 会 長 宮 平 の り 子



会 長 平 良 識 子

社社連合

3人



中で新しい沖縄振興のしくみをどう位置づけ市政発展へ結びつけていくのか、正念場であります。我が会派三名一致団結し、本市の更なる発展に向け、一生懸命取り組みで参る所存でございます。

結びに市民の皆様方のご多幸と、益々の実り多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

無所属

1人



前 泊 美 紀

謹んで新春のお喜びを申し上げます。今年は、沖縄が日本に復帰して四十周年の節目です。心新たに、是々非々、市民本位の立場で、議会活動に励み、開かれた議会づくりに尽力する所存です。皆様が健やかで幸多き年となりますように。



那覇市議会史(通史編)発刊(3月)



悪質な客引き行為が行われている松山の現状を視察
(観光と地域活性化に関する調査特別委員会 2月18日)



識名トンネル開通に伴う周辺道路への影響を視察
(厚生経済常任委員会 1月28日)



「中核市移行に関する要請決議」を市長へ手交後
意見を交換（中核市移行に関する調査特別委員
会 4月26日）



東日本大震災で被災された方々を支援するため
議員全員で募金活動を実施(3月15日)

那覇市議会2011 写真で振り返る 重大ニュース



平成24年末に完成予定の那覇市新庁舎の免震層施工現場を視察(5月9日)



「那覇市の交通政策を考える市民地域フォーラム」を7回開催
(公共交通と交通政策に関する調査特別委員会 5月26日)



小学1年生児童が転落死亡した国場川の現場を視察
(建設・教育福祉・厚生経済の3常任委員会 11月2日)



鏡原中学校の地盤沈下の現状を視察(教育福祉常任委
員会10月4日)



那覇ハーリー競漕で念願の初優勝！(5月3日)



本市の議会基本条例制定に向け研修会を開催
(11月29日)



海拔が低く海や川に近い市内小中学校の避難経路を
視察(総務常任委員会 11月25日)



友好都市締結30周年記念の那覇市福州市友好の翼に
議員10名が参加(11月4日～10日)